

月刊 いちえふ。

2016年
9月号



1 FOR ALL JAPAN 事務局

とびっくす

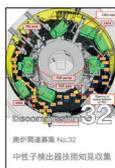
9月9日は救急の日。
今一度復習しましょう！

救急の知識を深める日をご存じでしたか？ AEDの使い方や救急医療体制を学びましょう。

http://www.1f-all.jp/information/20160523_1.html

はいる 廃炉作業に適用可能な
知見・技術提案を募集中！

有望な国内外の英知を結集すべく、高度で専門的な知見や技術を募集しています。



TEPCO CUUSOO (“空想”)
<https://tepcocuusoo.com/>

9月21日から30日まで
秋の全国交通安全運動を実施

交通ルールを守り、早めのライト点灯や夜間の反射材設置など、安全運転を常に心がけましょう！



1Fを守る仲間たち 15

1F構内にも普段の生活が戻ってきたと感じてもらいたい

くろさわ まさお
黒澤 政夫さん

ローソン東電福島大型休憩所店 店長
有限会社トータルフードサービス

はたけやま ゆき
畠山 由紀さん

ローソン東電福島大型休憩所店 副店長
有限会社トータルフードサービス

今年3月1日、1F構内の大型休憩所にオープンしたコンビニエンスストア「ローソン」。すでに多くの方に利用されており、1Fの労働環境改善に大きく役立っています。そのローソンで店長を務める黒澤政夫さんと副店長の畠山由紀さんにお話をうかがいました。

—— 毎日どれくらいの方が来店するのですか。

黒澤さん：開店時間の朝6時からお客様がいらっしゃいます。とくに忙しいのが、朝10時すぎからお昼の前後まで、午後2時から3時ごろ。1日で1000人近い作業員の

黒澤さんは1999年に入社。震災前は1Fにあった食堂で調理などに従事。震災後は四倉にある会社で調理の仕事に。ローソン東電福島大型休憩所店の開店に合わせて、指名を受けて店長として着任



畠山さんは2006年入社。震災後は、広野町にある売店で2月まで働いていたが、ローソン東電福島大型休憩所店の開店と同時に副店長として着任。この取材後、7月半ばにローソン富岡店に異動

方が買い物に来られます。

—— いつもどのような接客を心掛けていますか。

畠山さん：1F構内は、ほとんどが男性の職場で、私のような女性はまだまだ少なく雰囲気明るくなるように笑顔での対応を心掛けています。何も買われないときでも、お声掛けいただければ、私たちも元気にあいさつをお返します。

黒澤さん：震災直後に懸命に仕事をされていた作業員の方の写真を見たのですが、ずいぶん疲れて元気がない表情に感じられました。ですが、今では大型休憩所ができて食堂や自動販売機コーナーがつけられ、今年になってコンビニエンスストアができたことで、1F構内にも普通の生活が



1F構内の雰囲気^{ふんいき}が明るくなるように、元気なあいさつや笑顔での対応^{おんおう}を心掛けている

もど戻ってきたと感じていただければ幸いです。

廃炉という大変な作業をしている方に、仕事の疲れをいやして元気が出るような場をご提供^{ていきょう}することで、復興に少しは貢献^{こうけん}できているかなと感じています。

●続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/15/>

黒澤さん・畠山さんのお勤め先

有限会社トータルフードサービス

いわき市四倉町にある株式会社鳥藤本店の関連会社。鳥藤本店は1945年双葉郡富岡町で創業。1970年からは給食業務を開始。震災後はいわき市四倉町にいわき営業所を開設して、双葉郡地域の復旧復興事業や1F廃炉事業にかかわる人々への食事^{しょくじ}を提供^{ていきょう}している。

1Fを守る仲間たち 16

全世界が注目しているので 誇らしく感じながら仕事をしています

こばやし まこと
小林 誠さん

有限会社飯島組
建設部長

作業用の足場を組んだり、ガレキを取り除いたり、縁の下の力持ちとしての役割を担っているのが、今回紹介する飯島組。大手総合建設会社の清水建設を中心に、共同企業体（ジョイント・ベンチャー）を組んで作業を進めています。現場で指揮をする建設部長の小林誠さんにお話をうかがいました。

— どのような仕事をしているのですか。

小林さん：私が1Fに来たのは2013年11月です。その頃は、道路上に鉄板を敷いて大型車両が入れるようにしたり、クレーンを組み立てたり、工事前の環境整備を行っていました。

現在は、1号機の原子炉建屋で燃料取り出しに向けての準備作業をしています。ダスト飛散を防止する薬剤の散布

作業が一段落したので、これからは遠隔操作の機械を使って小さなガレキを吸い取ったり、カッターで取り除いたりする作業が中心になります。

— 1Fは、他の現場とどこが大きく違いますか。

小林さん：30年近く原子力発電所の仕事をしてきましたが、当然のことながら、廃炉に向けての作業は初めてなので緊張感があります。また、作業員を取りまとめる立場の人間として、放射線量の管理や熱中症の対策にも気を使わなくてはなりません。一つひとつが未経験のことばかりですが、全世界が注目しているので、誇らしく感じながら仕事をしています。

1989年入社。奥さんと2人のお子さんは新潟県長岡市にお住まい。「雪が多い地域なので、年末年始に帰ってくるごうと思っても、まず雪下ろしを手伝わされるので大変」と笑って語る



「頑張らなくちゃいけないよな」と口に出せるのが1Fの雰囲気

— 他の会社の人たちとも交流があるのですか。

小林さん：同じ共同企業体に参加している会社は、みな同じ宿舎で寝泊まりしていて、ご飯もお風呂も一緒。みんな顔なじみで、コミュニケーションが取りやすいという利点



休みの日にシュノーケルを行い、仲間との親睦を深めている

があります。「何十年もかかる仕事だけど、日本だけでなく世界から注目されているから、頑張らなくちゃいけないよな」ということを、よく話しています。他の現場では気恥ずかしくて、そうしたことはなかなか言えませんが、1Fでは自然に口から出てくるのが不思議です。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/16/>

小林さんのお勤め先

有限会社飯島組

新潟市に本社を置く建設関連企業。社員には、建物をつくる際の足場の組み立てや解体をはじめ、高い所での作業をするたび職などの専門家がそろっている。社内のほとんどの人は日本各地に出張して、共同企業体の一員として大規模な工事に携わっている。

いちえふのいま

少しでも働きやすい職場を目指して工夫を重ねています

1F 構内の管理対象区域では、放射線量が低い順にグリーン、イエロー、レッドの3つのゾーンに分けて必要な装備を定めています。この3つのゾーンに分けて以降、安全性を保ったまま、全体的に過剰装備の改善傾向がみられています。

2号機では、原子炉内で溶け落ちた燃料の調査結果が出ました。その燃料の大部分が圧力容器の底にとどまっていると推定されます。



作業環境の改善について

3月8日から管理対象区域を3つに分け、カバーオール（防護服）の使用量が減少（約8000→約4000着/日）。全面マスクの使用率も減少（約66%→約47%）し、使い捨て式防じんマスクの使用率が上昇（約28%→約48%）と過剰装備の改善傾向を確認。また、協力企業の要望・意見を参考に改善を実施。

A 敷地境界付近のダストモニタ計測状況について

1F 周囲の影響をすぐに分かりやすく示せるように、敷地の境界近くにある8カ所のダストモニタの値をウェブサイトでもリアルタイムに公開。

B 1・2号機排気筒ドレンサンプルピット調査開始

昨年のリスク総点検で、調査が必要とされた1・2号機排気筒ドレンサンプルピットについて、8月中旬～下旬から遠隔操作ロボットなどを使って水位や水質の調査を実施。

C 2号機

3月22日～7月22日に宇宙線由来のミュオンを用いた測定を行った結果、溶け落ちた燃料の大部分が、圧力容器底部にとどまっていると推定。

1Fの安全統一ルール22カ条

【第6回】

昨年、過去の災害事例をもとに1F内で守るべき規定として、「1F安全統一ルール22カ条」を作り、運用を始めました。このコーナーでは、2カ条ずつ内容を紹介しています。

●第11条「人力運搬時の重量制限遵守」

作業場で荷物を運んだり積み込む

だりする場合、以下の重量制限を設けています。荷物の重量をよく確認し、日々の安全な作業に取り組んでください。

- ・約25kg（セメント袋1つ）以下
- ・人力運搬以外の作業は、共通仕様書に準ずる

●第12条「滞留水貯留タンクの堰内に立ち入る場合は、防滑性能の高い専用長靴を使用」

滞留水貯留タンクの堰内は、とても

すべりやすいため、防滑性能の高い専用長靴の使用を徹底してください。また、滞留水貯留タンクの堰内での移動においては、以下の3点に気をつけてください。

- ・水たまり内を歩くときは慎重に！
- ・堰内はすり足歩行の励行
- ・堰内は段差が見づらい



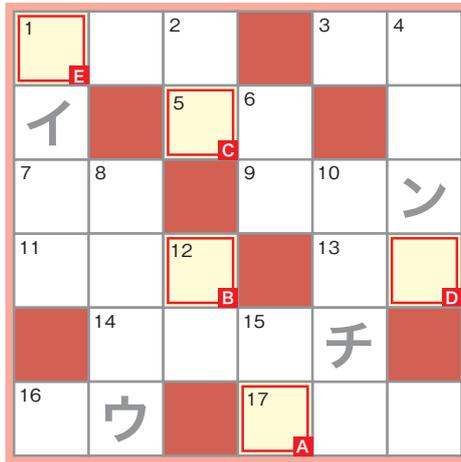
いこいの時間

〈クロスワード〉

今月はクロスワードです。タテとヨコのキーをヒントにして、A～Eの印がついた箇所の文字を並べると、答えの言葉になります。みなさん、おわかりになりますか？

タテのキー

1. 摺上川のそば、歴史ある「○○○○温泉」
2. 3位のメダルの色は？
3. この国の首都はパリ
4. 食パンにもある音を聞く器官
5. ソルトは塩、ペッパーは？
6. アフタヌーンティーで楽しむお茶
7. 美人の歩く姿に例えられる花
8. 木の胴体の部分



ヨコのキー

1. カレーといえばこの国
2. オン⇔○○
3. 英語でシー
4. 雑多な魚。○○寝
5. 結婚していません
6. 福島県出身「春日八郎」の職業は？
7. 餅つきに使う杵と○○
8. 真つすぐ家に帰らずに・・・
9. 信○○、○○傑、○○格
10. 隣の○○○はよく柿食う○○○だ



A	B	C	D	E

答え

応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、新事務棟お客さま通用口にある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 9月9日～9月26日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

1F構内の食堂で使えるプリペイドカード1000円分（保証金500円分含む）です。500円分のお食事ができ、チャージ（入金）をすれば引き続きご使用いただくことができます。



ウェブサイトの紹介

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさまを応援していきます。



1 FOR ALL JAPAN
廃炉のいま、あした



http://1f-all.jp/

月刊いちえふ。
2016年9月号

【発行日】2016年9月9日
【発行】

1 FOR ALL JAPAN 事務局
（東京電力ホールディングス SC室）
【お問い合わせメールアドレス】
info@1f-all.jp